

安全報告書(2023)

IOX-AROSA

IOX-ゴンドラ

第1ペアリフト

第2ペアリフト

第3ペアリフト

第4ペアリフト

第5ペアリフトA線

第5ペアリフトB線

医王アローザ株式会社

2024年発行

1. 利用者の皆様へ

日ごろはIOX-A ROSAをご利用いただき、誠にありがとうございます。

当社はお客様の安全確保を第一に掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に最大の努力をしております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、索道輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について自ら振り返るとともに、広くご理解をいただくために公表するものです。皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、ご意見、ご感想をいただければ幸いです。

医王アローザ株式会社
代表取締役社長 北島 清

2. 基本方針と安全目標

当社は安全に係わる基本方針及び行動規範を全従業員に周知、徹底し、輸送の安全確保に努めています。

【輸送の安全確保に関する安全基本方針】

- ・ 私たちは、すべてにおいて安全を最優先します。
- ・ 私たちは、定められたルールに従い、安全運転を行います。
- ・ 私たちは、安全の維持向上に努めます。
- ・ 私たちは、安全運転を通じてお客様に最高のサービスを提供します。

【行動規範】

- (1) 一致団結して輸送の安全に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規定をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する情報を理解するように努めます。
- (4) 職務実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義ある時は最も安全と思われる取扱いに努めます。
- (5) 事故、災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- (6) 情報は漏れなく迅速に、正確に伝えます。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に取り組むように努めます。

【安全目標】

- (1) 人身障害事故 0件
- (2) 整備不具合による事故 0件

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

- (1) 索道運転事故(索道人身障害事故)
- (2) 2名で乗車した乗客が山頂停留場内において、降車しようとした際、進行方向左側に乗車していた子供の前方に旅客が斜路で転倒し通路を塞いでいた。進行方向右側に乗車していた乗客が同乗していた子供を転倒している乗客との衝突を回避させようとして転倒した。進行方向右側に乗車していた旅客が起き上がる際、乗車していた搬器に接触して頭部を負傷されました。

事故当時山頂停留場乗客係は、斜路で旅客が転倒したため減速運転を行い、その旅客の対応を行っていたため進行方向右側に乗車していた旅客が転倒したことに気が付きませんでした。

【対策】

係員を1名増員し乗客の降車後の監視を強化した。索道係員に乗車及び降車したことを最後まで確認し、危険な場合は非常停止操作を行うこと再徹底しました。

- (3) 災害(地震や暴風雪、豪雪など)
災害はありませんでした。
- (3) インシデント(事故の兆候)
該当事項はございません。
- (4) 行政指導等
該当事項はございません。

4. 輸送の安全確保の為の取組み

- (1) 人材教育
北陸信越運輸局、北陸信越索道協会、北陸信越索道協会富山地区部会の各研修会に参加受講しました。
- (2) 緊急時対応訓練
シーズン営業開始前に、砺波広域圏南砺市消防署・アローザ村協議会(場内宿泊施設)・医王アローザ株式会社と合同でゴンドラ救助訓練を計画しましたが、当日悪天候のため中止としました。

実施予定日 : 令和6年11月29日30日 両日悪天候のため中止
参加予定団体 : 砺波広域圏南砺消防署
南砺市
南砺警察署
医王アローザ株式会社

- (3) 安全のための投資

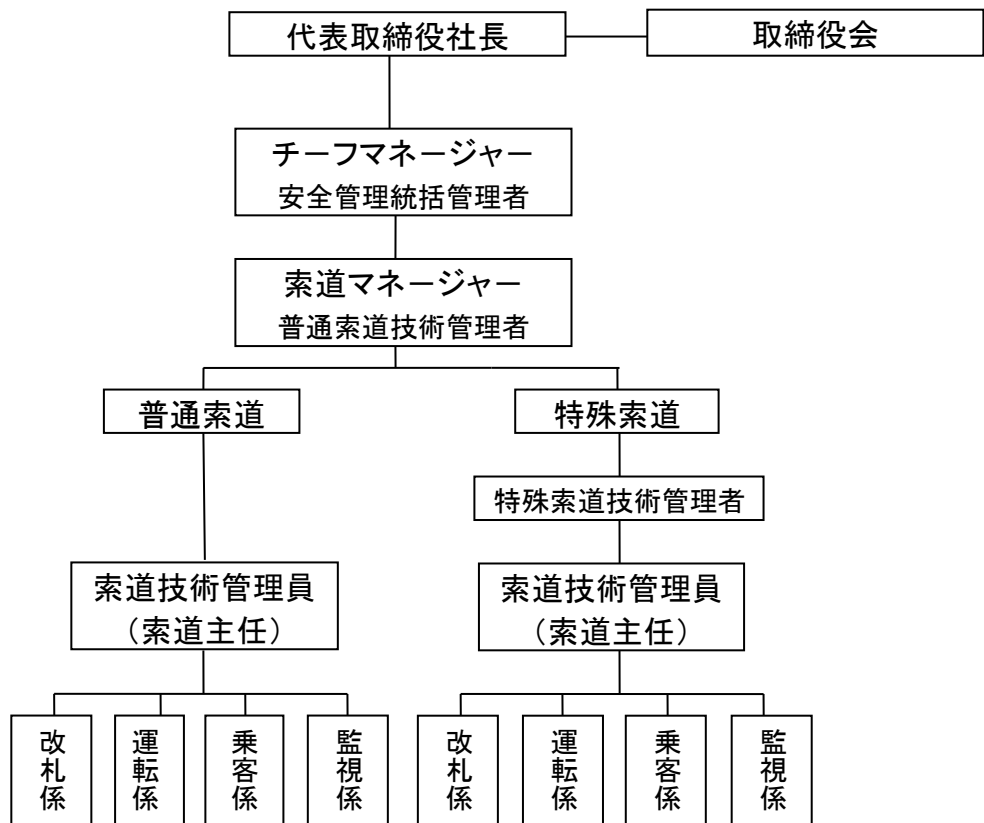
IOX-AROSA の主な保守内容

○ゴンドラ

・支柱 受索装置 2号柱索輪交換

・搬器	握索機	7号柱全ビーム更新索輪交換
・電気設備		23台オーバーホール
○第1ペアリフト		点検、保守
・搬器	握索機	全搬器更新
	皿バネ	全搬器更新
・支柱	脱索検出装置	1～8号柱 更新
・原動設備	電動機	軸受探傷検査
	減速機	軸受探傷検査
・電気設備		点検、保守
○第2ペアリフト		
・原動設備	減速機	オイル交換
	油圧緊張装置	オイル交換
	制動機油圧ユニット	オイル交換
・原動設備	電動機	軸受探傷検査
	減速機	軸受探傷検査
・電気設備		点検、保守
○第3ペアリフト		
・原動設備	電動機	軸受探傷検査
	減速機	軸受探傷検査
・電気設備		点検、保守
○第4ペアリフト		
・搬器	握索機	全搬オーバーホール
・支柱	脱索検出装置	1～6号柱 更新
・原動設備	電動機	軸受探傷検査
	減速機	軸受探傷検査
・電気設備		点検、保守
○第5ペアリフトB線		
・搬器	握索機	全搬オーバーホール
・支柱	脱索検出装置	1～9号柱 更新
・原動設備	減速機	探傷検査
・電気設備		点検、保守

5. 安全管理体制



代表取締役社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
チーフマネージャー (安全統括管理者)	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
索道マネージャー 普通索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、普通索道の運行の管理、索道施設の保守の管理その他の技術上の事項に関する業務を統括管理する。
特殊索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、特殊索道の運行の管理、索道施設の保守の管理その他の技術上の事項に関する業務を統括管理する。
索道技術管理員	索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の行う業務の補助をする。

- (1) リフトには滑走具(スキー、スノーボードなど)を着用されていないお客様はご乗車いただけません。
- (2) 未就学児は、ゴンドラ・リフトには保護者(高校生以上)同伴でないと乗車できません。また、保護者1名が同伴できる未就学児は1名のみです。保護者の同伴のない未就学児は、安全管理上乗車をお断りしております。
- (3) ゴンドラ・リフトご乗車にあたっては責任と義務がともないますので次のことは必ずお守りください。

<乗車時>

- ① リフトの乗り降りに不安なお客様は、係員に申しでてください。
 - ② 「のりば」の表示位置でスキー、ボードを正しく前に向けて待機してください。
 - ③ 乗れなかった場合は、すぐにリフトから離れてください。
 - ④ スキーヤーはストックがとなりの人の迷惑にならないように注意してください。
 - ⑤ リュック等はひざにのせ、衣服等のヒモにも注意してください。
 - ⑥ スノーボードのお客様は、流止めをつけ、ハイバックをたたんでください。
- 未就学児の乗車については大人の方と同乗をお願いいたします。

<乗車中>

- ① セーフティーバーを下ろし、深く腰をかけてください。
- ② 乗車中は、次のことを行わないでください。
 - ・イスを揺らすこと
 - ・イスから飛び降りること
 - ・イスの上でふざけたり、後ろを向いたりすること
 - ・ストックなどで柱などにさわること。
- ③ リフトが止まっても飛び降りないでください。

<降車時>

- ① 「おりば」が近づいたら降りる準備をし、降りた後はまっすぐ進んでください。
 - ② 降りられなかった場合は、そのままイスにすわっててください。
- ※ 気象状況(強風、雷)などにより、輸送の安全の確保が困難となった場合はゴンドラリフトを一時停止、運転見合わせ及び運休とさせていただきます。安全確保の為ご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。

7. 連絡先

よりよいサービスを提供させていただくため、お客様からのご意見を募集しています。安全報告書へのご感想や当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せください。

〒939-1681

富山県南砺市才川七アローザ村

医王アローザ株式会社 お客様係宛

E-Mail: info@iox-arosa.jp

電話 0763-55-1326

FAX 0763-55-1329